

いわき民報

郵便番号 970
いわき市平字田町63-7
いわき民報社
振替口座 (郡山) 4028
社 0246 1666
支 0246 3560
小 0246 2380
常 0246 2903

新味の
魚清
平二 七四二六三三

肉料理講習会

あす小名浜公民館
県食肉事業協同組合連合会は、食肉消費拡大運動の一環として、二十日午後一時から、小名浜公民館で食肉料理講習会を開き、肉を材料にした料理の作り方を指導する。同連合会は市民多数の受講を呼び掛けている。無料。
あす税務相談
税務課は二十日午前十時から、本庁・市民相談室で税務相談を受け付ける。
いわき市市営支所
大ゴミ収集は二十日午前八時半から、後江東地区・大ゴミミ

要求される専門技術

目立つ独創的商品作り

県内職相談センター窓口

低経済成長時代を迎えて、内職職線は厳しくなってきた。これは発注側の求人企業が、売れる商品を開発しようと、手のかかる独創的な商品作りが要求される傾向にあるためだ。従って内職側にも対応能力のある人、つまり専門技術が要求されるわけで求人企業も容易に内職に就けられないという現象が表れている。

約四割の人は不適者

県いわき内職相談センターが一月に扱った求職件数は二百五十三件うち約四割は不適者で、内職に従事できなかった。切ったしまったのを機に、企業で職を求めようとするが、これ



来た人の身になって相談を

いわき市社会福祉協議会、心配ごと相談所運営委員会主催の「心配ごと相談員研修会」が二十日午前九時半から、市社会福祉センターで開かれた。社会情勢の変化や住民意識の高まりなどから、相談内容も複雑・高度化する一方、相談員も経験豊富で、高度化する一方、住民の良きアドバイザーである相談員の質的向上を図るのがネライで、昨年に続いて二度目。市内各地区福祉協内に設置されている相談員や担当職員など約百人が出席した。



遠大な防潮林植栽事業

〇〇県いわき林業事務所は、いわき海岸の新防潮林計画を進めている。小さな苗が現在の防潮林並の高さに育つのは一世紀後という遠大な計画。
〇〇木はいわきの市木ク
ロマツ。五十一年度から平の藤「クロマツの苗木を守る闘い」

旅は安心して泊まれるお宿
(旅館賠償責任保険加入)
日本交通公社協定旅館
日本観光旅館連盟会員
旅館 甲陽館
いわき市平駅前
平 3181 代

いわき抄

〇〇全国各地で毎日のように金融機関が強盗に襲われている。これは銀行などに勤めているみなさんもうかうかしておれない。不況のあおりで金融機関を襲うケースが増えたのだ。金銀をねらった凶悪犯罪の流行性が気になる。いわきではこうした銀行強盗は発生していないが、警察当局の警戒も厳重になっている。銀行側も隠しカメラなどそれぞれ対策を講じているハズだから、銀行強盗が割に合わないことだけは確かである。
〇〇強盗といえは、いわきでは大倉で逮捕された栗原広治がこのほど、いわき中央署に身柄を送られて来たばかりであり、栗原の狂言強盗事件が市民の関心を呼んだものである。それから昨年暮れ、内郷で新興住宅に押し入って包丁を突き出し強盗殺傷に問われた二十六歳の青年に対する求刑公判はきょう開かれたが、「計画的で悪質だ」と懲役八年を求刑されたことが本紙に載っている。さすがに弁護側も弁解の余地ない」と言ったそうだが、この包丁強盗でも、何も取らずに夫婦を傷つけて逃走したが、一生を棒に振るとは本当にバカバカしいと言っただけはない。強盗事件はどう見ても引き合わないものなのに、それでも続発するのは困ったものである。とにかく「鶏のまねをする鳥」にはなるべきでない。

店舗づくり20年...

SUN-ART SYSTEM

店づくりのノウハウをお教えします

立地条件・内装費の坪当たり単価・店舗のイメージづくり・開店のための準備・宣伝広告企画のたて方・店内装飾について

商店建築・店舗設計・施工
有限会社 サン・アート
福島県いわき市平南町21-3/3-SUNビル7F ☎22-4711代

〈パート募集中〉



え。
坂本
勇

〈小説〉

虫^{あぶ}の
ご
と
く
虫^いの
ご
と
く

彼は「神の力」に拉致（らっし）つち（つち）されるように書いた。その矢（や）つぎ早（はや）に発表されたどの作品（さく）もが、深い省察（しやうさ）と思考（しやうこう）をたたえ、世（よ）の譴責（せんさく）の大きな共感（きんかん）を得た。そしてそれらの作品（さく）の全（すべ）てが彼の父ミカエルと初恋（こはつれん）の—といつて、又同時に永遠（えいゑん）の恋人（こひびと）レーネに捧（たも）げ

られたものであった。彼はよくやぐデンマークの言論界にその名を知られるようになった。コペンハーゲン大学から、三十に満たない若さで学位を授与された。彼は血のにじむような精神の中で筆を揮い続けた。彼は自分が、三十四歳以上は生きることができ

ないと、本気で信じていた。自分の兄姉達の多くが、その年齢に満たずに天逝していたからであつた。神を呪つた父の罪科がここにあると、彼は信じて疑わなかつた。彼は迫り来る死の予感の中で、それに抗（あがら）うかのように精魂こめて著作に奮励したのである。

である。

一八四三年、サーレンは三十歳になった。その年彼は四月の明るい季節の中で、偶然レギーネに逢った。彼は教会で、あの忘れよにも忘れ得ないレギーネから、会釈をもらったのである。レギーネは彼を昇て、何やう切なそうに微笑

う季節が去ろうと腰を上げかけた頃、その季節と入れちがひにベルリンから帰ってきた。彼は又、著作に精励したかった。彼はその頃までに空想的、感性的享楽の空しさを余す所なく書いた。この上は、思弁によつて真理を我が物にできるといふハーゲル哲学の謬妄を

しまに暴露しようと思圖したのであつた。セーレンはうした卑劣とも思ふるメラーのやり方に憤慨したのである。だがその不遜な態度も、輿論を装った人身攻撃も、セーレン個人に關してのことなら、その限りに於いてなら、彼は怒りを抑制し得たかもしれ

とが世に明らかにされ、自分の栄達の望みを断念せねばならぬ所（ハメ）となった。

これに対し、コルサルの主幹は、このことを逆手にとり、今度はセーレンを――親友の秘密を暴きたて、中傷する卑劣漢――と大々的に書きだてた。コルサルの大仰な糾弾

その時夢に夢は來りに衝撃的であつた。彼はまた哀しく、彼の心は動揺した。彼はまたシュレーゲルからリーネを奪ひ取るつとつうな、大（おお）む、それな考えを起すのではあつた。しかし、と自分に不安を感じた。その頃になつても彼にとつてリーネはそれ程大きな存在であつた。

へ引きもつて一キリス土者として父への追慕の日を送る氣持がいやいや迫りに強くなるのを感じた。彼は最後の力を投入して著作に専念した。

一八四五年彼は「人生行路の語段階」を卒した。ところがこの書物に対する、讒謔が「ゴルサル」という雑誌に載った。その批評の執筆者は、セーレンの学生時代の友人であつたメラであった。セーレンはその批評を一読して憤慨した。第二に、メラは肝

生きたからその心を見出して、さしゆつし、処女への暖かき心を持つて、すたすたに切り刻んだのである。乙女の心なる心は無視し、愚弄した後に、例えようもなく身がつてなこの青年は、とつとつあき足らず、処女生体実験をまき、敗行したのだ。……と書いたのである。

セーレンはこの余りにお人の心を傷つける「告発」に曰うが、お人の怒りを見た。どうにもお人ない怒りであつ

ケンの「對惡人」カニナルの糾弾と、セーレンの苦惱に快哉（おどろ）を叫んで小躍（こおどり）した。セーレンは教会へ行つても、冷淡な目でじろろと見られ、コーヒーショップでテーブルについても店の主人は注文を取りに来ず、世の親たちは悪戯（わるさ）をした子供を叱りつける時に「セーレン！」と諄（しづ）つて手を上げる始末だ。

彼は顔色こそ変えなかつたが、心には立つていらぬ程の電撃が走るのを感じてゐた。彼は手すの所で、よろめくのを忖(こら)へた程であつた。「レギーネ……」彼は胸にならぬ聲で誰にもななけりかたにだけくう叫んだ。大袈裟(おおがさ)にだけレギーネはそのまゝ去つて行つてしまつた。それは時間にして僅か数秒の出来事であつた。まぎしく、夢に夢みかた心地とはこのことだつたら

た。セーレンはそういう世俗的な一切から解放した試ではなかった。それどころか、彼はレグナーネ一人その心裡から打ち遣ふことさえ自由にできないといふひ弱な存在であつた。彼はレグナーネの為に離れ、そうして又レグナーネの為に書く男だった。

著作活動を通してセーレンはようやくテンマークの思想會に注目され、そして遂に名士を確立した。彼はまた三十二歳の若さであつたが、田舎

に苦惱を重ね、自分の人生の全部の時間をあのいつ時に、この軀の中をすりぬけて行つたように思える程のレギーネとの日々。苦惱の深きがゆゑに歡喜の高く、歡喜のいとおしきがゆゑに苦惱の忘れられないレギーネとの日々。あああの日々に酔きとおしたのが、自分の心を、世の一体だれが知りえよう。そうした心の痛みを學友メラーは、事もあらずに——この新作は、花嫁を、無残にも拷問台にのせて、

自分の中傷などではない。ヤ
ーレンはそう思っていた。世
間もそれは解っていたけれど
う。彼は公衆の良識を信じて
いた。ところがセーレンのそ
ういう思想は大にはずれた。
た。公衆は彼に味方するとい
ろか、彼を「卑劣漢」として
圧迫した。

自分を擁護してくれるもの
と想つた公衆は、逆に彼を嘲
笑し冷遇し譏蔑した。セーレ
ンの才能や名声を、裏切るも
とは嫉妬していたコペンハー

一八四三年、セーレンは三十歳になった。その年彼は四月の明るい季節の中で、偶然レギネに逢つた。彼は教会で、あの忘れようにも忘れ得ないレギネながら、会釈を導けたのである。レギネは徳を見て、何やう切なそうに微笑した。それはむしろ微笑というより、見ようによつては泣き顔のようであつた。セーレンは表情一つ変えず、少女を――や、今ではシュレーゲル夫人となつたレギネを見

けた頃、その季節と入れちがいにベルリンから帰ってきた。彼は又、著作に励励したのである。彼のその頃までの空想的、感性的事業の空しさを余す所なく書いた。この上は、愚弁によつて真理を我が物にできるといふヘーゲル哲学の虚妄を説き及くせよかつた。彼は、迫り来る三十四歳を考えては、少して早くその仕事を了へ、あとは静かな田舎の敬虔な一キリスト者となつて世を過したと念願してゐた。

たのであった。セレンはうした卑劣な思想を、そのやり方に憤慨したのであった。だがその不遜態度も、セレンを装った人身攻撃も、セレン個人に関してのことなら、その限りに於いては、彼は怒りを抑制し得たかも知れなかつた。何にもまして彼が驚愕の学友メラーを許難へ導いたのは、レギーネとの婚約とその破綻について、あつたことだつた。あの、自分がレギーネに対して苦悶

の栄達望を断念せねばならぬ所（ハメ）となった。

これに対し、コルサルの主幹は、このことを遊手たゞ親友の秘密を暴きたる、中傷る卑劣漢——と大々的に書りたたてた。コルサルの大仰な糾弾は、セーレンを圧迫した。メラールの大学教授となるべき野望をうち挫いたのは、メラール自身の日々の事実であり、彼自身の日頃の所業と生活態度であつた。失つて

と	と
武	と
	く

$\frac{7}{8}$

(8)

醫の「人生行路の諸段階」
ロクに読んだ形跡がなかつた。セーレンはまずその事
心外に思った。第三にその事
コペンハーゲン大学・養育
教授の椅子を狙つて、セン
ーの、人気取り的な、イン
ーショナルを期待した購
らな魂胆が見え透っていた。
メラはセーレンの著作を
讀ひんじしたのではな
く、彼の才能を妬そねむ、
或いは危懼して彼の生涯を

た。彼は當然としてその反対（ば）文を書いた。メラが関与していた「コルサル」という雑誌は、人々の私生活を暴露したり、要否に人身攻撃を仕かけるのが主目的の、いわば興味本位の品のよくない雑誌だった。大学の美学教授の職就うと自論でいたメラは、セレンの反対文によつてたゞちに、どうした「コルサル」のような悪趣味の雑誌と深く関わっていた。



ご会合、ご宴会、ご家族連れに…

お座敷をご利用下さい

香港仕込みの本格的な味!!

中国料理 鳳翔

平駅前(白銀町・高橋ビル)TEL・23-0251

毎月20日発行

定価 1部 ￥1,800

■ 6ヵ月分前納 ￥ 9,000
 ■ 1 年 分前納 ￥18,000
 ■ B5判(27cm×19cm)本紙半分大
 ■ 土質紙きれいなオフセット印刷
 ■ 毎月配本・郵送いたします

夕刊 日本民報
編輯版 3.26

1978年 1月号



■表紙は『いわき芸能シリーズ』

1月号好評発売中

夕刊

以不才民報

54年版ご予約承り中！

縮刷版

〈いわき市内のニュースを月々にまとめた1冊の本〉

●お申し込み・お問い合わせは→いわき民報社☎231666・小名浜支社923560・常磐支局422380・勿来支局22903

●戸締りは一つの錠より二つで強化、
ワンドア・ツーロック。

内科
循環器科
物理療科

肛門科 神經科
胃腸科 外科

▶ 入院応需 ◀

北山医院

院長 北山和也

いわき市平北白土字東原前
電23-3531
(東北電力南がわ)

いわき市物価対策本部の調べによると、一月末現在の市内の生活必需品小売価格は、前月比で鶏卵が一七％安くなったほかは、これといった変動はみられなかった。値上りには玉ネギ七％、チリ紙四％、マヨネーズ二％、食パン、LPガス各一％の五品目。同じく値下がりでは鶏卵のほかマグロ七％、トレットペーパー三％、豚肉、灯油各二％の四品目。残る砂糖、洗剤は横ばいだった。

鶏卵は取引価格となる東京空

農のMサツマ平均卸値が暴落したことによるもの。灯油は昨年八月以降わずかながら値が下り傾向を示しているが、玉ネギと同様、地域によって高値、安値の差が激しい。玉ネギは三和安値と平（高）値で、 $\frac{1}{2}$ 当たり百六十円、灯油は三（安値）と川前（高値）で十八銭当たり百六十八円もの差があった。

一万、二月一日現在の生鮮魚介類調査でも、対象十五品目のうち十一品目が三四四％値下が

りした。年末年始の需要期が終わったのが主因。主な低落はイワシ四四％、サンマ三五％、アジ三〇％など。反対に、ブリは三〇％、サツマ、揚げは五％高騰した。魚肉ソーセージ、カボチャは横ばい。一月三十日現在の生活必需品小売価格は次の通り。カツコ内は前月価格。単位円。

▽食パン一斤 一五二（二四）
▽マグロ百グラム 三三七（三六四）
▽豚肉百グラム 一四一（一四三）
▽鶏卵十個 一七二（一七〇）
▽玉

灯油、市内で168円も差

需要期過ぎて魚価下落

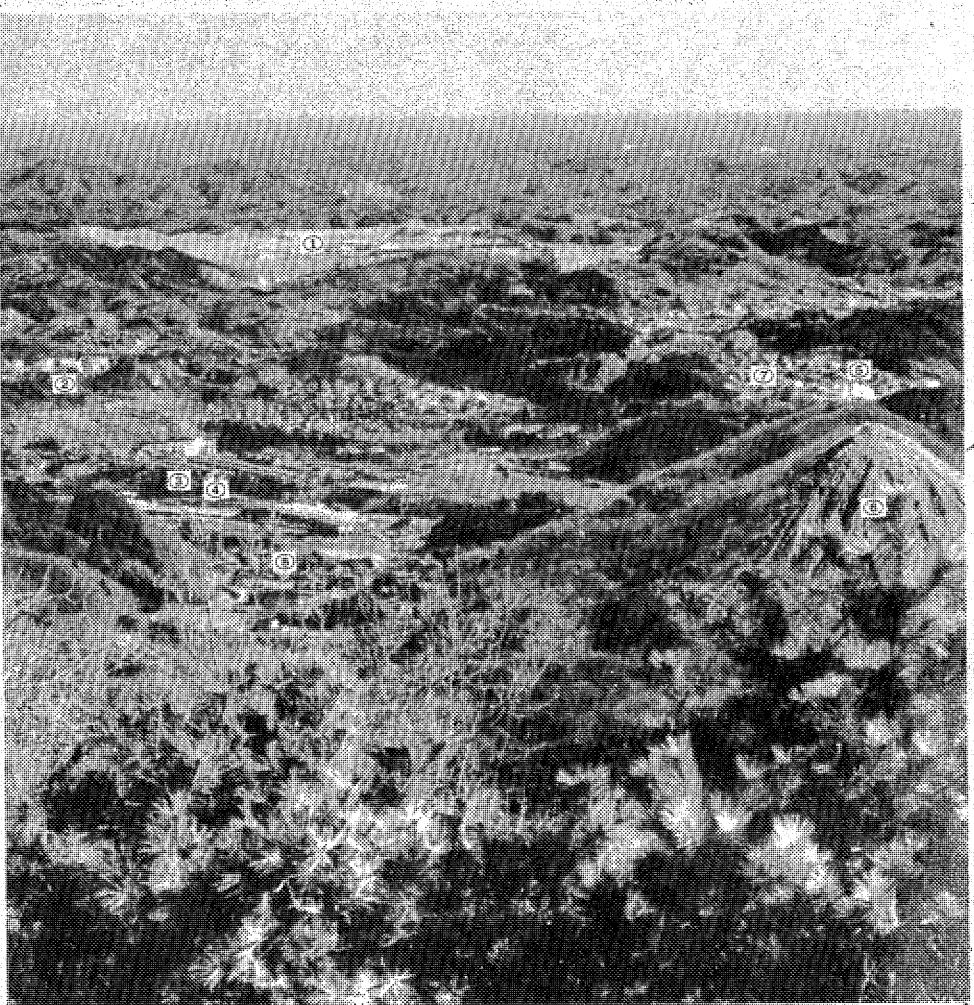
ネキ^一||一八〇(一六八)▽砂
 糲^一||二三六(同)▽マヨネー

十二日午前十時半から同小で交通教室を開く。

小売物価、表面は横バイ

現 1 月
在 末

ス三百四十二〇〇（一九七）▽灯
油十八号（配達付き）ニ六八八（六
九五）▽L.P.カス十キ一、六五
〇（一、六三六）▽洗剤千六百六
十キ五九二（五九四）▽チリ紙
七百四十一（一、二六五）▽トイ
レットペーパー六十キ巻き四個
ニ〇二（一〇九）



小野田～常磐鹿島工業団地

- ①常磐鹿島工業団地
②八仙団地
③常磐縫製
④常磐畜産
⑤市立常磐病院
⑥旧炭鉱スリ山
⑦上湯長谷地区
⑧小野田地区

加入率いつも最低

磐城の市民交通共済

○：いわき市は市民交通共済の加入を進めているが、昨年末現在、磐城地区では四三・二%と市内十地区で最低。

○：同地区の最低は二何年も動かずで、原因は「子供のいない家

庭の関心を薄かったり、船舶には海士が少なかったため「穀城文所広聴活動」。

○：同多では、加入率を高めるために職場加入よりも隣組を利用した地区ごみ加入を呼びかけている。

まよつな見方をしないでほしい」「内分勝手な要求、満腹盛産仕に來るが、も少し船政と打ち合わせを行つてもらいたい」と打ち明けた見方もある。また、市の方針、絵本に依つての郵送の肥料化費用、絵本に依つての郵送の肥料化費用、多くの要望もあった。

独りよがりは慎もう

ボランティ
ア研修大会

差別意識も捨てて

いわき市社会福祉協議会、県奉仕員行いわき支部共催の「心のふれあい」を高めるために」をスローガンとした、第二回ボランティア研修大会が十八日夜、いわき市平の大鷲屋「ユートリヤ」くなくけ会館で開かれた。

奉仕活動推進地区指定になったのを機に、市内の奉仕活動を総点検して、市民の福祉要求に対応できるボランティアの育成と相互連絡の強化が目的で、現在市内で奉仕活動を続けているボランティア（男女関係者約百人）が出席した。

初めに磯野清治市社会福祉協議会会長が「市内の多くの恵まれた人々のため、温かい手を差し伸べていただいているのを心から感謝しています。今日はこうした縁輪をつなぎ、明日の福祉をささえるため、実りのある研修会したい」とある。

〔厳しい意見も出たボランティア研修大会〕

いさつ。結して同協賛会から現況報告などがあつた。

二のあと、BBS、ボランティア学級、金山ボランティアグループの代表者、それぞれの分府からこれまでの奉仕活動について事例を発表、質疑応答を入つた。

この中で施設関係者から「施設を訪問する際、障害者を差別した会館で明く。

利(二) 小山田良三(二) 杉山
二(二) 高橋清郎(二) 二
二(二) 小野真一(初段) 二
二(二) 赤津貞夫(二) 二
二(二) 生田直司(二) 二
志属晴仁(二) 二
五川ミセス教室 五川ミセス教
室は二十一日午前十時から、玉山
会館で明く。

くらし

随筆
 そろそろ新しく社会人となつた人達が、いろいろな職場に出勤してきます。この人達が一日も早く成長し、それがその仕事で活躍されることを祈つておきます。

投資

くか、私に負うところが太です。しかしながら、それ以上に、新入達の心構え次第で、その結

て下さい。新入達の進むべき将来は無限の可能性を秘めています。

二十代は「目」に投資する時です。どれだけ多く自分に投資したかにより三十代、四十代が逆つてくるものです。給料をもらたぐり前から、給料をもらたぐりくら預金しようかなと思えていたのでは、人生に投じたものは必ず戻つてきます。人に親切にすれば、友情が得られれば、相手を理解してあげれば、自分を理解してもらえます。自分の意思次第で、どんな結果も選択することができるのです。

大前半は、か、
せいだ給料を

展示試打会

アルガゴルフ
大 沢 商 会
マルマンゴルフ

- (試打クラブ)
- スリイーズ アイアン
 - " ウッド
 - プロフェイボ アームアクション
 - マグニバワーグラファイトゴールド
 - " " レッド
 - ベンホーガン ニュークラシック
 - ブラックシリーズ

★アリガゴルフアドバイザー 瑞慶山プロがご相談に応じます
★お買い上げクラブ1本から ゴルフエース保険サービスを行っています

●とき＝2月23日・24日・25日
●ところ＝ゆもとゴルフセンター

- スリーイーズ・アイアン ●レオンレックスアルデライト
●シェクスピアXLD ●リンクス・USAキャット・マスターインペリアル
●ベンホーガン・マグニパワー 他

※ご来場お客様サービスとして
メーカー特別提供品をご期待下さい

ゴルフ
ショップ

ヒラヤク

いわき市植田町本町 TEL. (02466) ③4476

